

## 令和元年度 第4回米子市廃棄物減量等推進審議会 議事録概要

- 1 日 時 令和2年2月7日(金) 午前10時から正午まで
- 2 開催場所 米子市役所5階 議会第2会議室
- 3 出席委員(敬称略)  
米子市廃棄物減量等推進審議会委員 13名  
飯塚委員(会長)、岡本委員(副会長)、中村委員、上田委員、矢末委員、  
植田委員、高野委員、岩田委員、谷本委員、松田委員、熊谷委員、大江委  
員、桂藤委員  
(欠席:小川委員、伊坂委員)
- 4 議 事  
(報告事項) 第3次米子市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について  
(審議事項) 第4次米子市一般廃棄物処理基本計画の策定について
- 5 会議公開 公開
- 6 傍聴者数 なし
- 7 資料  
資料1 ごみ処理基本計画 施設整備計画  
資料2 ごみ処理基本計画 数値目標  
資料3 ごみ処理基本計画 循環型社会実現のための施策  
資料4 生活排水処理基本計画 施設整備計画  
資料5 生活排水処理基本計画 数値目標  
資料6 生活排水処理基本計画 生活排水処理の施策  
フロー図  
用語集  
第4次一般廃棄物処理基本計画策定スケジュール(予定)
- 8 議事録概要

### 【報告事項】第3次米子市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について

- 事務局： ～資料の確認・ごみ処理基本計画の進捗状況について説明～
- 会長： 質問がありましたら、よろしく申し上げます。
- 副会長： 2点だけお聞きしたいんですが、進捗状況で未達成項目をいくつか挙げられてますが、それについては今後基本計画の改定版に盛り込んでいくのか、どういうお考えか1点お聞きしたい。  
それからもう1点は小型家電のリサイクルですが、公民館にある回収ボックスに入らない大きさのものがある等の制約があるということ。それから、どの程度周知徹底をされておられるのかという、その認知度みたいなものがわかれば教えていただきたい。  
それと食品ロスの取り組みについて、実際どの程度反映されているのかお聞きしたい。
- 事務局： まず今回の未達成の項目について、事業系ごみの排出量に関しては、次期の計画では例えば機密文書でありますとか、紙おむつなんかをどのように削減していくかというところも、計画に盛り込む予定にしております。
- 事務局： 事業所から出て参ります使用済みの紙おむつ。これが一般廃棄物に該当し、クリーンセンターで焼却処分を行っております。今後、高齢化で排出量が多くなってくると予測されます。これを別の処理、例えば焼却処分せずに何かリサイクルする方法というのを調査研究したいと思っており、次期計画には、調査研究を進めていきたいと思っております。
- A委員： これに関して、前の会議で言いましたように伯耆町ではおむつをペレット化する、そういうことをしてるけど、あまり集まらないので他の物を燃料として燃やしたりしているという現状ですが、市町村を超えてごみを出してはいけないというのがあるので。こっちは足りない、こっちは余ってるんだけど、それがこううまくいかないかみたいな話は前回、審議会の中で出しております。その辺も含めて検討をしていただければなど。
- B委員： それについては福岡県の大木町だったと思いますけど、紙おむつを洗浄して、もう一度紙おむつにする。あるいは、リサイクルして紙の繊維を取り出して、別の紙資源にするという2つのリサイクルの方法。なかなか米子市では難しいかもしれないけど、今言われるように、ごみをまた広域的によその町村に出すということは難しいかもしれませんが、今紙おむ

つのリサイクルが全国的に進んでいるので、やっぱり考えていくべきかなと思っています。

○事務局： またそういった先進事例のところの市町村に伺ってですね、現状を調査したいと思います。

○事務局： では続きまして、小型家電リサイクルのことにつきまして回答します。公民館なんかにあります回収箱の入口がどうしてもサイズがありますので、それに入らない物は米子市ですと、クリーンセンターまでお持ちいただくこととなります。

実は民間の事業者さんでもされているところがあります。そちらでしたら、例えば土日であったり、時間も米子市よりは幅広い時間帯かなと思いますので、そちらの方の周知が今後、より必要ではないかと考えております。食品ロスについての実態が、今までは計算上の数字では出していたんですが、はっきりわからないような状態でした。

昨年、詳しい食品ロスの実態調査を致しましたので、また調査結果につきましては次の審議会の時にご報告しようと思うんですけども、今後も継続してこういう調査をしていく必要があると考えております。

○C委員： エネルギー回収量の件ですが、発電でできる電力から売電でかなり収入があるということを聞いておりますが、売電がなくなりますよね。買い取り価格が安くなる。それで、今までの価格と今後減る価格との差をどうやって埋めていくかっていうことも参考に聞いておきたいなと思っていますが。

○事務局： 売電価格の変更についてでございますが、令和4年度の中頃からまだ金額も決まってないんですけどだいたい3分の1ぐらいになるんじゃないかなというふうに思っております。

その穴埋めということはちょっと今まだなかなかお答えができないかなと思います。

○会 長： ありがとうございます。他に、どうぞ。

○D委員： 不法投棄の対策について、パトロールをして監視しているということなんですけど。実際どういうことが行われていて、その実際やってどうだったのかってということがちょっと不明だなというのもある。やっぱりごみを出すやり方がめんどくさい、処理の仕方が難しいということで捨てられること結構多いんですね。

たぶんこういう問題、米子市もこれからは増えると思うので、その不法投棄の対策としてどういうことをしていて、それに対して効果がどうかというのもこの中で反映されればいいなと思いました、またご検討ください。

○事務局： 不法投棄対策ですけれども、特に不法投棄が多い地区に9名の方を配置していただいてパトロールを開始していただいております。3か月ごとに報告もいただいております。それから市のほうでも重点的に多いところでパトロールを行っております。大規模な不法投棄というのは近年減少傾向にあります。よくあるのは、道路沿いにレジ袋等でポイ捨て。こういったものが見受けられますので管理者等にお伝えするというところ。それから、ごみの不法投棄の多い場所というところを市の方でも監視を続けているというところがございます。

○会 長： 他に。どうぞ。

○E委員： 2点お伺いしたいと思うんですけれども。一つはレジ袋削減推進に関しての協定締結なんです。29年の4月からということで、この辺りの成果というところを1点お聞きしたいのと、環境教育の普及啓発の充実というところで、数値的にはあまり目覚ましくないのかなと思うんです。どのようなところを広げておられるのかというところを2点お聞きしたいと思います。

○事務局： はい。ではまずレジ袋の協定の関係のことについて、ご説明します。こちらレジ袋の協定については、例えば締結前と締結後で、どれくらいレジ袋の辞退率が増えたか減ったかという具体的な数字は把握できていないというのが現状です。

7月からの有料化の実施前後でどの程度効果があったかというのは、調査する必要があると思います。これまでは鳥取県が中心となっておりましたが、これからは、市が主体となって調査をする必要があると感じております。

続きまして、環境教育の充実についてご説明します。実施状況をご覧いただきますと、年間で例えば自治会の説明会等の件数が少ないように見えるんですけれども、基本的にはご要望をいただいて伺うという形をとっております。また、クリーンセンターの施設見学についてですが、近年、クリーンセンターがごみを燃やして発電し、それを売電しているということで注目をされておりました。その結果28年度、29年度というのが、小学校以外の見学が多少増えた、他の機関の視察ですとか、そういうものが増えたこともあって、30年度は見かけ上減ったような感じになっております。

○会 長： ありがとうございます。事務局、引き続きよろしく申し上げます。

○事務局： ～生活排水処理基本計画の進捗状況の説明～

○会 長： ありがとうございます。ただ今の生活排水についてどなたかご質問ある方  
お願いします。

ごさいませんようでしたら、私の方から一つ質問。合併浄化槽を普及する  
ための事業。100基にプラスαなんですけど、この別の表を見ますとまだ  
単独浄化槽たくさんあるんですね。これはやはり一層その普及していく、  
推進していくような計画はあるんですか。

○事務局： 合併浄化槽は公共下水道が整備され、計画区域内で接続が始まれば必要な  
なくなるということですが、今後はですね、より一層、合併浄化槽  
についても整備を進めていくという方針に若干修正したということでご  
さいますので、その結果年間の補助限度額を拡大し、補助基数も大幅に増  
やしていくということお聞きしております。

○事務局： この合併浄化槽につきましては、下水道が届かない所については先行して  
この合併浄化槽を入れていこうという計画にちょっと変わってきました。  
今までは下水道ということだったんですけども、そのために先行して補  
助率、補助額をあげて、そちらの方面に合併浄化槽を入れていこうとい  
うことです。

○会 長： 他にご質問、ありましたらよろしく申し上げます。

○B 委員： 先ほどの紙おむつの処理の件でもいいですか。

今お話を伺いますと伯耆町ですね、紙おむつの処理業者がおられるのに伯  
耆町では紙おむつが足りない。米子市では紙おむつが沢山だけでも、それ  
を伯耆町に持って行くことはできないというようなお話を伺いました  
けれども、せっかく伯耆町で事業を立ち上げておられるなら、やっぱり周  
囲の市町村が協力体制を構築するというのは市の仕事でもあるし、働きか  
けていただきたいという市民の願いを持っています。よろしくお願いた  
いと思います。

○事務局： 広域連携というのはとても大事なことになってきますし、今後は焼却場も  
処分場も一切広域でというのが10年先に巡ってきます。それまでの間、  
連携してできることがあれば、連携していかないといけないというところ

は承知しておりますので、いろんな方策を考えていく必要があると思います。

**【審議事項】第4次米子市一般廃棄物処理基本計画の策定について**

○会 長： それでは、その次に進ませていただきます。第4次米子市一般廃棄物基本計画策定について、よろしくお願いします。

○事務局： ～第4次一般廃棄物処理基本計画の策定スケジュールの説明～

○会 長： ありがとうございます。今後の予定をご説明いただきました。

○C委員： 第4次の処理基本計画の策定ですが、これだけ読んでも実際に部門が多すぎてですね、ピンとこないんですよ。ですから事務局の方からある程度ポイント絞ってもらって、これについて検討を中心にやってほしいって提示受けないと何を検討していいかわかりませんので、提示をしていただければと思います。

○事務局： はい。その辺の審議のやり方につきましても、次回以降工夫をしながらご協議、ご提案したいと思います。それから、本日承りました紙おむつのご意見、ご質問結構出ましたので、その計画に盛り込む、盛り込まないは別にして、そういったお話の場面を作らせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○会 長： 他にご意見ございましたら。  
ございませんようでしたら、本日は長時間にわたりまして、ご意見をいただきましてありがとうございました。